

令和4年度第3回東住吉区区政会議 議事録

1 開催日時

令和5年2月28日（火） 19時00分～20時10分

2 開催場所

東住吉区民ホール

3 出席者

（出席委員）

沼田壮人議長、柴田精一副議長、堺 政昭委員、竹村匡己委員、中西裕希恵委員、
藤村浩人委員、堀江 淳委員、山田邦江委員、山本優美委員

（市会議員）

辻 義隆議員、田辺信広議員

（東住吉区役所）

塩屋区長、中原副区長、杉本総務課長、今西事業企画担当課長、松岡総合調整担当課長、
西川区民企画課長、伊藤次世代育成担当課長、森本保健福祉課長、奥田子育て支援担当課長、
中尾保健主幹、松木保護課長、秋山生活支援担当課長、渋谷窓口サービス課長

4 議題

- 1 令和5年度東住吉区運営方針（案）について
- 2 令和5年度東住吉区予算（案）について
- 3 その他

○松岡総合調整担当課長

本日はお忙しいところ、また夜分にも関わりませず、東住吉区区政会議へご出席をいただきまして、まことにありがとうございます。

只今より、令和4年度第3回東住吉区区政会議を始めさせていただきます。

私は司会を務めさせていただきます総合調整担当課長の松岡でございます。よろしくお願いいたします。

この区政会議につきましては、区政会議の運営の基本となる条例に基づく会議となっております。条例の規定により、委員定数の2分の1以上の出席がなければ成立しないということになっておりますが、本日18名のうち9名、オンライン参加の2名を含めまして9名の委員の方々のご出席をいただいております。有効に成立していることをご報告いたします。

また、この会議は公開をいたしまして、後日議事録を公開するため録音をいたしますので、ご発言の際は必ずマイクをご使用ください。

発言される際は、手を挙げていただきまして、議長からご指名ありました、最初にお名前をおっしゃっていただきまして、ご意見を述べていただきますようお願いいたします。

また、オンラインで本日2名の方がご出席いただいております。柴田委員と藤村委員におかれましては、ご自身の端末、パソコンの画面の上部にございます手を挙げるというボタンがございますので、こちらをクリックいただいて、議長から指名がありましたら、マイクをオンにいただき、ご発言をお願いしたいと思います。発言が終わりましたらマイクをオフに戻していただきますようよろしくお願いいたします。

続きまして本日はコロナウイルスの感染症拡大防止対策として引き続き、マスクの着用、

手の消毒等をお願いしてございます。

また、出入り口を喚起のために、しばし開放することがございます。少し寒い時期ではございますが、申し訳ございませんがご承知いただきたいと思います。

また、マイクの受け渡しにつきましては、消毒をその都度させていただきますので、こちらもご協力をお願いいたします。

続きまして、本日ご出席いただいております市会議員の皆様をご紹介させていただきます。

奥から、辻議員でございます。

○辻議員

こんばんは。よろしくお願いします。お世話になります。

○松岡総合調整担当課長

続きまして田辺議員でございます。

○田辺議員

こんばんは。本日もよろしくお願い申し上げます。

○松岡総合調整担当課長

ご出席ありがとうございます。

会議用の資料につきましては、報告のつど確認させていただきますので、もし資料がないときには事務局までお知らせをお願いしたいと思います。

あと本日、こちらの不手際が一つございまして、資料の2-1に誤字がございましたので、差しかえ分を会場の方に配付させていただいております。

それでは会議に先立ちまして、東住吉区長の塩屋よりご挨拶を申し上げます。

○塩屋区長

皆さん、こんばんは。今日も大変ご多用の中、貴重な時間を割いてご出席いただきまして、大変ありがとうございます。

しかも今日は年度末に近くっておりますし、また2月の最終日ということで公私ともにご多用なタイミングではなかったかと思います。ご出席いただきまして、誠に本当にありがとうございます。

そして今日は先ほどありましたけども、オンラインでご出席の方もいらっしゃるということでございます。デジタルトランスフォーメーションではございませんが、色んなデジタル機器が、ずいぶん便利になってまいりました。特にコロナ禍の中で、リモートで出勤といったものが世の中でも普及してまいりました。こういう会議についても、オンラインを使うことによって、こちらまでお運びいただくような時間を、節約するとかいうこともできますし、また、いろんなご都合でそれぞれの家なり事務所を出られない場合でも参加できるということで、会議に出席しやすくなっているということでございます。また今後、そうしたご利用ご活用のお機会ございましたら、是非ご利用いただければと思っている次第でございます。

この区政会議は平成25年に、先ほど司会の者が申しました条例が制定されて運営されております。平成25年の3月に条例が制定されていますので、丁度10年ということになります。この間、いわゆる基礎自治、区民の皆様方、市民の皆様方の身近ないろんな問題に対する行政的な基礎自治に関して、区民の皆様方の色々なお声とかニーズとかそういったものの把握した形でしていくわけですが、やはりこの区政会議という場を通じましても、区民の皆様方、この区民というのはお住まいの方々、お仕事をしてくる方々、色々な様々の方を総合的に区民と呼ばしていただいておりますが、そういった方々のご意見をよ

く聞いて、そして立案をしていく、そしてそういう実績についてもお評価ご意見等を頂戴するという貴重な場としても、この10年間開催してきているわけございまして、今日は令和5年度、次年度の運営方針、そして予算案についてご報告をさせていただくわけでございます。既に、2月3月の大阪市会がスタートしております。

この当区の予算案につきましても2月22日に大阪市会に上程させていただいて、ご審議いただいているという状況でして、そういった意味では、予算案、また運営方針につきましては事後報告的な形になりますけれども、是非ご了解いただきまして、ご意見を賜ればありがたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

以上でご挨拶とさせていただきます。

○松岡総合調整担当課長

ありがとうございました。

それでは議事に入りますので、これより議事進行を沼田議長にお願いいたします。

議長よろしくをお願いいたします。

○沼田議長

はい、議長を仰せつかっております沼田でございます。皆さんこんばんは。

リモートの柴田委員、藤村委員聞こえておりますでしょうか。

聞こえますかね、はい、ありがとうございます。

それでは本日は皆さんのご協力の下、少ない人数ではありますが、活発な意見交換をいただきながら会議を円滑に進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

議題につきましてはまず区役所からの説明を受けたいというふうに思っております。そして、説明の後一括して、委員の皆様からのご意見やご質問をいただきたいというふうに思いますのでよろしくお願いいたします。

それでは議題に移りたいと思います。

まず、議題1の「令和5年度東住吉区運営方針（案）」と議題2の「令和5年度東住吉区予算（案）」について説明をお願いします。

○今西事業企画担当課長

では「令和5年度東住吉区運営方針（案）」についてご説明させていただきます。東住吉区役所事業企画担当課長の今西と申します。どうぞよろしくお願いします。

まず、この間の区政会議でのご議論を踏まえまして、令和5年度の運営方針案を策定いたしました。区政会議の場での繰り返しになりますが、運営方針というのは概ね5年をスパンとした中期的な区行政の方針ビジョンである、区将来ビジョンの単年度の取組方針という位置づけになっています。そのため、目標とか区の使命という部分は、将来ビジョンから準用していることから、基本的に変更することはありませんが、具体的な取り組みに向けた経営課題は、その時々々の社会情勢や、社会課題に応じて適宜変更することがあります。

5年度の運営方針からは、市の様式が変更になりまして、この点が明確になっております。4年度までの運営方針は、事業や取組が網羅的に記載されておりまして、記載内容の中には法律に基づいて経常的に実施すべき事業であるとか、廃止や見直しが困難な事業も記載されていたのですが、5年度からは基本的に当該の1年間における課題認識や課題解消に向けた取組を中心に記載するという形に変わっております。

まずお手元の資料1-2と1-1をご覧ください。1-2が来年度の様式になります。こちらは文字が多いので、簡易版で1-1を作っておりますので両方見ていただきながら、進めさせていただきます。

まず、当区の運営方針案の構造は、様式1－2の上から3番目の欄に、区長が1年間に重点的に取り組むべき事項を「令和5年度所属運営の基本的な考え方」という形で取りまとめ、この基本的な考え方に基づき、その下の欄にある「経営課題」を設定し、戦略的に区の事業を実施することとしております。

では順番に5年度の運営方針について説明いたします。

まず5年度の区政運営における基本的な考え方としては、まず1つ目が子育てに対する不安や負担の軽減を図る。2つ目が防災意識の向上を図る。3つ目がより多くの住民参加による自立的な地域運営の実現に取り組む。この3つを設定しております。

様式1－2であれば、上から3番目の欄の①②③がそれにあたります。

これらを推進するに当たって、区民の意見やニーズを的確に把握し、施策や事業を展開していくとともに、さまざまな媒体を用いて区民が必要とする情報を届け、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に留意しながら、市民サービスの維持向上に取り組むということとしております。

まず、この基本的な考え方を踏まえまして、令和5年度において区役所が重点的に取り組む経営課題を3つ設定しております。

1－2であれば、この下に重点的に取り組む経営課題という枠がありますし、1－1の方でしたら色をつけて青色、緑色、黄色になっています。

順に説明させていただくと、基本的な考え方の1つ目、子育てに対する不安や負担の軽減を図ることに対応する経営課題としては、「みんなで子どもを育てるまちづくり」を設定しました。

この経営課題では、子育てに不安や負担を感じている人が、気軽に周囲に相談できずに孤立する傾向があるという課題認識をしております。その課題認識の下で妊娠・出産・育児に関する正しい知識の習得や、近隣住民との交流を深めることで、養育者の孤立化や育児不安を軽減することを目的とした出産育児総合サポート事業の実施であるとか、子どもの養育状況を把握して支援を要する場合には、関係先につなぐための未就学児のための子育て支援事業などを実施することとしております。

2つ目の経営課題ですが、こちらは基本的な考え方の2つ目の、防災意識の向上を図ることに対応した経営課題になっておりまして、「みんなが健康で安心して暮らせるまちづくり」を設定しました。この経営課題では、自分や家族の命は自分で守るという自助の必要性が十分に浸透していない傾向が見られる。また、自分たちのまちは、自分たちで守るという共助の必要性が十分に浸透していない傾向が見られるといった課題認識の下で、区民が防災・減災に関する正しい知識に基づく備えを実践し、自らの手で迅速かつ効率的な応急救助活動ができるよう、また、災害時における区災害対策本部としての機能を十分発揮できるように体制を整備する防災力向上事業などを実施します。

最後になりますが、基本的な考え方の3つ目、より多くの住民参加による自立的な地域運営の実現に対する経営課題として「みんながつながるまちづくり」というのを設定しました。

この経営課題の中では、地域活動協議会が形成されて数年が経過しておりますが、地域によってばらつきが生じているため、また、高齢化率が高いこと、単身高齢者世帯が多いこと、高齢者の介護予防とか、社会参加の促進が必要な状況となっているということが課題認識になっておりまして、この課題認識の下で、地域活動協議会による活動の継続推進、課題解消に向けた助言や支援により安定した地域運営、地域活動の活性化を促す地域活動協議会補助事業や、東住吉区新たな地域コミュニティ支援事業の実施や、高齢者の健康増進、孤独感の解消、居場所づくり地域社会との交流を深めることで、介護予防や社会参加を促進するための東住吉区高齢者食事サービス事業などを実施することとしております。

これらの経営課題につきましては、それぞれ目標となる指標を設定しておりまして、事業の実施を通じて目標達成に向けて取り組んでまいります。

以上が令和5年度の運営方針になります。よろしくお願いします。

○松岡課長

続きまして、令和5年度の予算案につきましてご説明を差し上げます。

資料は、2-1と2-2がございます。先ほど運営方針の説明がありましたが、予算につきましても、運営方針に則って案を編成しております。

まず2-1をご覧くださいと思います。来年度、令和5年度の東住吉区の予算といたしましては物件費等として全体の額が11億1,364万円でございます。

このうち、区長自由経費として、区長の裁量の下に区役所が実施する事業に係る経費でございますが、こちらが3億8,545万円でございます。

そして、残りの7億2,819万円、こちらは何かと申しますと、区のシティーマネージャーの自由経費で、例えば建設局が道路の維持補修をしていたり、公園整備をしていたりしますがCMと書いてございますのがシティーマネージャーの略で、区のシティーマネージャーとして、区の意向を反映して実施する事業の経費でございます。

こちらは各局についているものでございます。この区長の自由経費とシティーマネージャー自由経費でございますが、この場におきましては区長自由経費についてご説明を差し上げたいと思います。

この3億8,545万円のうち、当区において重点的に取り組んでいく事業が、先ほど今西からご説明を差し上げました、運営方針と対応するような予算案になってございます。

まずはこの緑の囲み円で書いてございます、まちづくりビジョンの推進というものでございます。

こちら、まちづくりビジョンの推進事業といたしまして、234万円。

この中身でございますが、まちづくりビジョンの4つの目指す暮らしのあり方ということで、こちらに書かせていただいておりますが、実際の内容でございますけれども、長居公園を訪れた方に対して、区の中心部である針中野駅・駒川駅、駒川中野駅の周辺エリアを、東西の軸での回遊を促す取り組みを検討するために、関係者、事業者の皆様方、我々自治体行政の、連携強化に向けての会議体を来年度設置していきたいと考えてございます。

そして、その下側にピンク色で囲んでいる運営方針、3つの経営課題ということ为先ほどご説明させていただきましたが、まずは経営課題の1の「みんなでこどもを育てるまちづくり」の中で、未就学児のための子育て支援事業で449万円。

この同じカテゴリの中で、出産育児サポート事業につきましては406万円。

続きまして経営課題2の「みんなが健康で安心して暮らせるまちづくり」ということで、防災力の向上事業を先ほども説明させていただきましたけれども、この事業につきましては507万円。

続いて経営課題3でございます。「みんながつながるまちづくり」ということで、コミュニティ推進事業、地域活動協議会補助事業ということで、各々667万円と3,954万円の予算案を組んでおります。

また、資料の2-2をご覧くださいなのですが、この区まちづくり推進費、区長自由経費といった3億8,545万円のうち、運営方針のどこに紐づいているか色分けをしておりますので、参考にご覧ください。

区政会議で皆さま方からいろんなご意見を出していただきました問題意識をなるべく反映させる形で予算事業の内容を組んでおります。

ちなみに、この色がついてないところは何かと申しますと、区の事務事業を進めていく上でかかる費用です。例えば区の広報事業が挙げられます

令和5年度の予算概要につきましては以上でございます。

○沼田議長

ありがとうございました。

では、議題3その他についても続けてお願いいたします。

○松岡課長

はい、続きまして私の方から説明をさせていただきたいと思います。

資料の参考の2をご覧ください。説明が遅れましたが、参考の1は各部会で2回にわたってご議論をいただいて、皆様方からご意見を頂戴したものと営方針を対応表にしたものでございます。

参考の2の方に参りたいと思います。前回、9月29日の区政会議本会で2つご意見を頂戴しております。それに対する、区としての対応の内容を書かしていただいておりますので、ご紹介させていただきます。

区政会議の委員様から、子どもに関するトラブルや、問題を抱えた人たちの声に早く気付くには、何処に行ってもいいのかわからないし誰にも相談できない状況で追い詰められている方に対して、困ったら役所に行くという雰囲気を区役所に作る必要があると思う。笑顔で優しく迎えていただけるような環境を作っていただきたいというご意見をいただいております。

これに対しまして、当区では「子どもが輝き、みんながしあわせなまち」という将来像の実現に向けまして、区民の方々への行政サービスの向上を目指しまして、接遇の向上、事務手順等の工夫、それと庁舎の快適性の向上という、この3つの柱を作りまして、おもてなしプロジェクトに取り組んでございます。区民の皆様に対して分かりやすく丁寧で誠実な対応を行うなど、信頼いただける職員、安心して来庁いただける区役所であるように努めてまいります。

先日、区長からもそういう指示をいただいております。

2つ目でございます。大阪市、官公庁は縦割り行政で、詳しい内容はどこに聞けばいいのか確認しても、関係部署の電話番号を教えているだけで、もう一つよく分からない。横のつながり・連携をとっていただいたらもっといいのではないかと思います。ホームページには載っていても、一般的にはなかなか認識されていないということで、少し不足ではないかというご意見を頂戴しております。

こちらのご意見に対しまして、区役所のホームページ等の情報発信を充実させるとともに、お問い合わせいただいた方の立場に寄り添った対応ができるよう職員の能力の向上に努めてまいりたいとこのように考えてございます。

9月の区政会議でいただきました意見につきましてはこのように対応させていただきますということでございます。

こちらは、ホームページにも掲載をさせていただいております。よろしくお願いいたします。

次に参考の3でございます。こちらは、本日お二人の方がオンラインで参加いただいておりますが、オンライン参加をいただくに当たっての、注意事項といいますか連絡事項でございます。カメラ機能をずっとオンにさせていただいておりますのは、本人様が参加されているということの本人確認の意味でございます。またマイクについて、ご発言時にオンにさせていただくということでございます。

Teams のアプリを利用してこの会議、オンラインで開催させていただいておりますが、このアプリが入ってなくても対応は可能でございます。

お二人には WEB 参加、オンライン参加をしていただくに当たりまして、事前に通信テストのご協力をいただいております。

今後、WEB での参加、オンライン参加のご希望がおありでしたら、ご心配の部分は大部分解消されると思いますので、ご遠慮なくこちらの方までお申し付けくださいますようお願いいたします。

説明は以上でございます。

○沼田議長

ありがとうございました。事務局より一通り資料の説明をいただきましたので、これまでのご説明について何かご意見ご質問ございましたらよろしくお願いいたします。

○堀江委員

すみません。

○沼田議長

はい、では堀江委員どうぞ。

○堀江委員

堀江です。よろしくお願いします。

予算概要のところで、今まで運営方針のお話があったのですが、このまちづくりビジョンの推進というのがよく分からなくて、今までの資料の中にもまちづくりビジョンの進捗という部分が載っていなかったのでもちろん見えたのですが、これは区政会議ではないことってことですか。

○今西事業企画担当課長

事業企画担当今西です。

まちづくりビジョンは令和3年の3月に策定しておりまして、当時の区政会議でご説明させていただいています。東住吉区将来ビジョンの別冊という形で、将来ビジョンが5年間の目標を決めたものですが、道路とか公園とか住宅といった、5年では描ききれないような、まちづくりの方向性を定めたまちづくりビジョンを策定しており、来年度の予算は、そのビジョンの推進にかかる予算になります。位置づけというと、単年度の経営課題とは別の長期的な視点での概念、取組になりますので、欄から外れた形で記載されております。

○堀江委員

分かりました、ありがとうございます。

ちょっと気になったのが、下の運営方針のところの色が分けてあるのですが、資料の1-1の色とバラバラになっているのでちょっと分かりづかったです。

○松岡課長

色を統一すれば、もっと分かりやすい資料になったと思います。申し訳ございません。

○堀江委員

以上です。ありがとうございます。

○沼田議長

ありがとうございます。皆さんいかがでしょうか。はいどうぞ。

○竹村委員

竹村です。

毎回説明されているとは思いますが、僕がちょっと理解が及んでない部分があって、大きなテーマというか、目標が、「子どもが輝き、みんながしあわせなまち」ですけど、それはそれでいいと思いますが、これに対する説明があまりこの資料にはなくて、このフレーズはどっからきたんだろうかというか、概念ばいなので、何か具体的に区としての着

地点がいまいち見えないなと思います。なぜ、その説明文みたいなものを、区長なり、区役所としてこういう方向に東住吉区を持っていきたいということが、もうちょっと具体化、書いていただけると区民が理解しやすいのかなというか、こっちに向かって進んでいるんだなという感じがするのかなと思ってまして、「子どもが輝き、みんながしあわせなまち」って本当に素敵なことしか書いていないので、何かふわっとした感じなので、雑誌の世界とかでいうとリードということですけど、タイトルがあって、それに対するタイトルの説明文みたいなものがちょっと欲しいなと思ったことが一つと、もう一つが予算事業一覧がありますが、これがちょっと表組みなんですけども、グラフとかにさせていただいた方が割合が分かりやすいと思っていて、見える化していただくと見やすいと思います。何が減って何が増えたかっていうのは分かるのですが、数字が苦手な人を見ると結構、やだなという感じもするなと思いました。

あと、少し戻りますが、子どもの話でいうと、多分子育て世代って東住吉区の全人口の20パーセントぐらいだと思うので、そこを主体に置くということも説明に入るといいかなと思います。

○今西課長

運営方針における「子どもが輝き、みんながしあわせなまち」という目標は、先ほど説明したものの、将来ビジョンのところで掲げている目指す将来像というのがそのまま入っていますので、こちらの方がそもそも漠然としているというご指摘かと理解しています。

将来ビジョンは5年間の大まかなプランということで、あまり細かい設定をしてこなかったのですが、一方で、まちづくりビジョンの方は細かい現状分析と課題抽出をした上で、具体的な目標像を掲げています。次の将来ビジョン改訂の時には、まちづくりビジョンとの整合性をとった上で、ご指摘いただいたような表現を考えていきたいと思っております。

○松岡課長

予算でございますけれども、グラフ化してほしいということで、確におっしゃる通りかというふうに思います。

令和4年度の予算と比べますと、区長自由経費は1,500万円ほど増えてございます。

ただ、事業の何かが非常に増えたというよりも、光熱水費の高騰と委託料、人件費部分です。人件費部分が増えているというところが影響しているということでございます。ですので、ある意味増減というものが発生してはおりますが、例えば減になっているのでその事業が縮小しているかというわけではございません。割合的なものというのはお見せできるようにはしていきたいと考えております。以上でございます。

○沼田議長

そうですね、私なりにこの資料、1-1を読むと、多分リード文に相当するものは、その下ですね、「子どもが輝き、みんながしあわせなまち」とあって、その、方法論が3つに分かれてるんだということで、「みんなで子どもを育てるまちづくり」、「みんなが健康で安心して暮らせるまちづくり」、「みんながつながるまちづくり」というふうになっていて、子どもを軸に置きつつ、それを通じてみんながしあわせになるっていうリード文的なものが書いてあるんですね。端的に言ってしまうと分かりやすさとか、出来がどうかというところだと、別問題としてあるかなというふうには思いますが。だからまあ次まで、今後我々が、ビジョンのことを考えていくというときには、そもそもこの「子どもが輝き、みんながしあわせなまち」というものを、2025年よりも先に、引き続き置くのかどうかっていうことと、それをどういうふうに読み解くのかっていうことも、どういうふうに区が説明されているのかというのをしっかり見ていって、どういう計画にしていくのかということ、検討いただくのがいいのではというふうに思います。

○竹村委員

僕がちょっと言葉足らずだったのですが、子どもを主体に置いている、軸に置いているってところが、なぜだろうというのが、見えないというところがあります。別にそれが悪いって意味でなくて。そこがもう少しはっきりした方が、それが子育て世代20パーセントしかないっていうところと繋がるのですが、という感じですね。

○今西課長

まちづくりビジョンを策定するときに、議論・分析したのですが、東住吉区は区域の90パーセントを住宅用途で使われており、戸建て住宅も多く、いわゆる住居系の地域という位置づけとなっております。住居系の地域というのは結構高齢化の影響を大きく受ける地域でして、地域によっては、高齢化率が25パーセントに達しているところもあります。

そういったまちが今後どうなるかと言うと、日本全体の高齢化が進めば、当区も同様に高齢化が進展していきます。こうなると、やはりまちの新陳代謝を活発にしないといけなく、そのためにはそこに住みたいと思ってもらえる方が増える、特に若い世代が住んでいただく必要があると考えております。そのためにもまちの変化を促進し、新陳代謝を活発にするため、子育て世代を呼び込もうということを、2つくらい前の将来ビジョンから目標として掲げています。

それらが基になって、このフレーズが記載されていますが、確かにフレーズだけでは文意が読み取れないところありますので、次回の将来ビジョン改定の際には、まちづくりビジョンとの融合というのを考えていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

○沼田議長

ありがとうございます。

○中原副区長

副区長の中原と申します。

今回区政会議で、資料が見にくいといったご意見いただく中でこういうふうな形で示したりとかしてきております。そういう今の委員からご指摘の、「こどもが輝き、みんながしあわせなまち」は別資料としてありまして、読み上げますと、「未来を担う子どもが夢を持って生き生きと輝き、みんながしあわせになることを目指しましょう」。これはその時の議論で、出ているリードですけど、確かにこういう抽象的な概念、これをもう少し砕いて分かりやすくお示しし理解していただくといった資料の作り方も含めたご指摘だと思います。予算の部分につきましても、数字の羅列ではなくて、広く理解しやすいような資料をとということのご指摘だと思いますので、そういったことも留意いたしまして、資料作成に取り組んでまいりたいと思います。よろしくお願いします。

○沼田議長

ありがとうございました。他にご意見いかがでしょうか。はい、堺委員。

○堺委員

堺です。

あまり言う気は無かったのですが、今書いてあることは確かに良いことばかり書いてくれているけれども、全然、私には理解できない。というのは一つ、例えばこういう場合はこういうことですよと、言ってくればそれに対して討議できるわけで、それが1個もない。だから今、副区長さんが言われた、こういう場合はこういう子どもたちのためにこういうことがいい、出来るのではないかとということの一つだけでも例を出していただいたら、それに対して皆が、それはいいな、もっとこんなことがあるのではないかと、ということと具体的に話ができると思う。

今のままなら、こういうのは全然、輝く子ども、子どもをみんなで育てよう、漠然と、何かさっぱり分らない。きついかもしれないけれど、はっきりこういう場合は一つはこういうもんですよと、これに対して皆さんが意見を述べる。今言ったように、まちづくりでも、こういうまちにしましょうと。

だからできれば具体的に案を出してもらえたら一番ありがたいと思います。私はそういうふうに解釈しました。一つ、何か1個でもいいから例を出してほしい。この教訓に対してはこう。これに対して皆で話し合いしましょうと。こういうふうな方法でやっていただいたらもっと区政会議が活発になっていいのではないかと。今のままでは皆さん発言できないと思います。

○沼田議長

ありがとうございます。事務局から何かございますか。

○松岡課長

非常にお答えに窮するような、難しいご意見いただいておりますけれども、区政会議の来年度のテーマを実はずっと考えております。どういう出題といいますか、今年度にいろいろ課題意識を頂戴いたしました。その課題意識をいただいて、それを吸収する形でこうした運営方針、予算案というものを作っているのですけれども、それをまた、もう一つ踏み込んだ事業なり、堺委員が仰るような事例、区政会議のテーマ出しのところからご議論いただけたらと思いますが、準備といたしまして、3つの運営方針に基づく事業の代表的なものを踏み込んで、具体例、具体的な内容の説明として、もう少し展開した形でご議論いただけるような材料にしてみたいと、このように考えております。

これにつきましては、事務局の方で叩きを作成いたしまして、来年度、令和5年度の区政会議においてご議論いただきたいなというふうに考えております。

以上でございます。

○沼田議長

ありがとうございます。はい、他にご意見はございますか。はい、どうぞ。

○中西委員

中西です。

先ほど来からのご意見と少し共通、重複してしまうかもしれないのですが、2点ばかりございます。

まず1点としましては、私も初めての経験だったのですが、部会というところに入らせていただいて、結構深掘りされるといいますか、深くいろんな協議の議論が出てくるということで、非常に勉強もさせていただいたところであります。特に参考の1とか2ということで資料をつけていただいている、本当に素晴らしい資料を作成していただいているなと感服しているのですが、部会のそれぞれの意見のすべては無理だと思うのです。無理だと思うのですが、区役所、東住吉区役所さんとして、行政としてどのように思われたのか、区民の意見やニーズを的確に把握しということで書かれているのですけど、どういうふうな部会意見を踏まえて具体的な形で運営方針につなげていったか、っていうようなところをご説明いただくと、各委員さん方は納得されるのではないのかと思います。これが1点です。

2点目は、それぞれの部会で議論していただいているかとは思いますが、その各委員さんの発言がベースとなった議論で展開していると思います。なので、例えば東住吉区長さんと区民の皆さんが近くなるということで、それぞれの進行状態、時間的に厳しいかもしれませんが、タウンミーティング的なものを、オンラインとか、対面とかされてみても、

いいではないのかなと。そうしたら一番区民の意見やニーズが的確に分かると思います。でも、そこに皆さん忙しいから出てきてくださるのか、本当に苦しいでる方がそこまでの思いを押し上げる気持ちはならないので、そこをどう手を差し伸べていくかってところの懸案事項はあるのですけど。

以上2点でございます。ありがとうございます。

○沼田議長

ありがとうございます。はい、どうぞ。

○中原副区長

副区長の中原でございます。貴重なご意見、どうもありがとうございます。

確かに今日は部会が開催されていないということで、先ほどの資料のありようであったり、あとは意見のくみ上げ方、会議の組み立ての話になろうかと思えますけれども、先ほど堺委員からもございました、いろいろと話が空中戦になってしまったりとかいうことでしたら、やはり貴重なお時間いただいている中での進め方ということもございますし、ある程度、部会でテーマを立てて、ということで絞った深くなるような議論を進め固めるとか、そういうこともいただいたご意見も踏まえて、進行方法を考えなければいけないと思います。あと、ニーズのくみ上げ方と、それから区政会議に対する説明責任のところかと思えますので、そうしたところも、資料のしつらえも含めて、丁寧に進めるようにしてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

○塩屋区長

中西委員、どうもありがとうございました。

お話にありました、もっと身近なところでの意見を把握するような場。本当にそのとおりでございます、やはりこの区政会議の場も重要なチャンネルでございますし、またそれ以外のいろんな場での個々でのいろいろなヒアリングもそうでございますし、場合によっては先ほどご提案があったような各地域における、例えば総会的なものなどがあればそうしたところに陪席させていただいてその機会にご意見を伺うとか、地域のリーダーの皆さん方、あるいは個人の方々がどんな課題を抱えておられるのか、あるいはこういった課題とかを耳にしていच्छるのかといったことを掘り起こしていくような、そういった努力をより一層強めていかないといけないと思いました。

貴重なご意見として考えさせていただきたいと思いました。ありがとうございます。

○沼田議長

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。柴田委員や藤村委員も、オンラインでご発言がございましたら。よろしいですか。はい、柴田委員どうぞ。

○柴田委員

本日は意見というよりも、今回オンラインで参加させていただきまして、カメラを操作してくださってる方とか、とてもありがたいと思っております。オンラインのことで、ご提案というか、感想というか、少し音が聞こえにくいというか、どなたかの声は聞こえるのですが聞こえづらい声もありました。徐々に改善とかしていければ、オンラインも良いというふうに思っております。

今日は本当にありがとうございます。

○沼田議長

ありがとうございます。試行錯誤しながらというお話も冒頭あったかと思えますので、段々改善していただけたらなというふうに思います。

はい、他に。では、堀江委員。

○堀江委員

堀江です、

部会の資料で、2枚目の方の資料で、令和5年度のところの③で地域活動協議会の目指すというところ、より多くの住民が参加するというところを目指しているのですが、ここに対して面白みとかやりがいっていうのが多分必要だろうと思ってしまして、先ほどの区政会議にしても、空中戦というお話があって、抽象的過ぎてというので。面白みとかやりがいが少し感じにくいのかと思っています。なので、部会でももう少し具体的なところまで持っていった形が残せるっていうのがあれば、区政会議にも面白みとかが出るのかなと思いました。予算のところでは地域活動協議会の補助金下がってたりとか、クラインガルテンの事業のところ下がっているということで、これは別に事業が縮小しているわけではないとは思いますが、こういうところが下がってくる、少し盛り上げていかないといけないところになっているのかとは思っているのですが、逆にもう少し重きを置かれているような感じがしていたのですが、下がっていたので、この辺りとかに地域の高齢者の方の役割、居場所がここにすごく持ってこられるのかなと少し思っています。そういう方々の面白みとかやりがいをつくれるようにしていくとか、そのような場を作るためにクラインガルテンなんか今すごく高齢者の方とか、皆さんで植物を育てて、それをうまく持っていけばそれを販売にとか、収益を持っていけるような形にできるのではないかと考えていて、ボランティアとかではなく、そういう活動した人たちの収益になるような、そうするとやりがいが出てとなると、もっと活発になってきて、そこに子どもに教えるとか、そういうふうにしていくと、いろんな方が参加していきたいってなるような気がしたので、こういうところの良さをそういう方向に持っていくことはできないかなと、これを見て思いました。

それともう1個だけ。触れ合いの、食事サービスのところが少し増えているのですが、今コロナでお弁当を持って帰ってもらうという形になっているところもあるかと思ってまして、そこをできるだけ個食というのを減らしていこうという方向にはなっているので、お弁当を持って帰ってもらうというのは何とかならないかと思っています。コロナが解除されるともちろん一緒に食べてって形になると思うので、そこにたくさん持っていけるのであれば、ちょっとおいしいものをとかで予算が組み込めるのか分らないのですが、そういうのも一つ大事なところじゃないか、とか思っています。

○沼田議長

ありがとうございます。事業の具体的な内容についていろいろご提案いただきました。ありがとうございます。

少しと時間を超過していますが、これだけは言っておきたいという方がいらっしゃいましたら。よろしいですか。はい、堀江委員どうぞ。

○堀江委員

私はどのような会議に行っても、とにかく答えが出したいわけです。

それがいいか悪いかは別にしても、とにかく出たからには自分が一所懸命やったというような答えを出したい。そのために私はきついことばかり言っているわけです。失敗するかも分からないけど、やるだけやってみようっていう考えが心の中にずっとあるわけです。だから皆と相談しながら、とにかくやろう、やろう、やろう、これで来ているわけ。失敗したらごめんなさい、そのまた次の新しいのを考えます。何もせずに空論ばかりしていたらもう、いくらでも美しいことを言うことができるしね。というのもお金の件ですけど、先ほどの食事サービスの件、私は食事サービスをしており、皆が来て食べてもらっています。やり方はいろいろあり、弁当を持って帰るのもあれば、やり方もいろいろあ

るわけです。だからそれはいろんな地域があるけれど、とにかくコロナの中では、皆で顔合わして一緒に行動しないとどうにもならないと思っています。だから今言うように区政会議に出たら何か答えを出したい。そこは答えを出せるように頑張らしましょうよということで、何か一つだけでも出しましょうよ。

○沼田議長

ありがとうございます。答えが出せるような形で、進め方も考えていくことが必要かなというふうに思いますので、またご相談させてください。

本日の議題は以上となっております。本日、議員の方々がおこしです。辻議員と田辺議員に一言ずついただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

○辻議員

本日はどうもありがとうございました。

区の予算ということですが、やはり委員の皆さんから出てきた、より具体的な話をもっとして欲しいということと、資料が少し曖昧な感じがする、目標っていうのはどこにあるんだということのご指摘もごもっともだと思いますし、この3つの経営課題についても「みんなで子どもを育てるまちづくり」とはどういうことだと、若い世代が入ってくるならば入ってきた数字がどうなんだと、いうこともきちっと目標を定めて、増えていないとしたら何が課題なのかというのをもまた見えてくるのですね。

健康で安心して暮らせるって、健康な状況になっているのかと。これも数字で示せる部分があると思うのです。皆がつながる、これも具体的に、孤独死が多かったりとか、そうした部分、今東住吉区の現状はどうなっているのかと、改善をどうしていくのかというところの目標点をきちっと明確に数字で示して、それができているのができていないのかということも反省点としてきっちり出していくことが大事かというふうに思いました。

区長の自由経費のお話をされていましたが、区のシティーマネージャー自由経費の部分は、もっとメスを入れないといけないと思います。公園の整備とか道路の補修なんかを区シティーマネージャーとして指示等を行いと書いてある、本当に指示してきちんと言うことを聞いてくれているのかと。堺委員からも先ほどお話があって、地域の公園について、もう少しどうにかしてという話、もうずっと、苦情があったらその度に公園事務所をお願いして、してもらっているという状況なので、やはり区長さんがしっかり地域の公園とか、道路事情を把握していただいて、公営所とか公園事務所と直接けんかをしてもらうぐらいの状況をつくらないと、この区がよくなっていくという実感が湧かないし、私たちの声が届いていくというような仕組みを作ってこそ、この3つの経営課題がクリアできていくのではないかなと思うので、しっかりとまた、区長さんと連携をとりながら、またこの委員の皆さんと連携をとりながら、目標達成に向けて頑張っていきたいと思いますので、皆さん今日は様々なご意見をいただきましたけれども、本当に、まさにそのとおりだというご意見ばかりでしたので、引き締めて頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いします。ありがとうございます。

○田辺議員

今日も遅くまでお疲れ様でございました。ありがとうございます。

もう本当に今日は、今日はというかいつもそうですけど、まさしく委員の皆さん仰るとおりだと思います。今日のこの会議は恐らく私が思うに、先ほど少しご説明があったかもしれないかもしれませんが、この時期ですから、来年の予算案、来年度の区政に関する総合的なご説明をまずという思いだったのかなと、別に役所の肩を持つわけではないのですけれども。ただそれであれば、そうしたところを事前に皆さんにご説明いただければ、もう少し皆さんのご理解も進んだのではないのかと思いますし、事前にご理解いただければ、委員の皆さんからいただいたご意見は、来年度予算のうち、具体的に事業でこういう

ところを取り入れさせていただきましたというようなご説明で、さらに再来年度のですね、事業にブラッシュアップできるような進行の仕方で、ご説明いただければ良かったかなというふうに思います。

我々は、この時期ですし、特に予算の増減がやはり一番気になるところで、一つはさっきご説明いただいた新規でまちづくりビジョン推進事業に234万円、もう一つは広報事業ですね。

これは私が思うに、参考資料2の、委員の皆さんから、もう少し分かりやすくしてほしい、というご意見が組み入れられたのではないのかなと推測しているのですが、そうしたご説明は次回の区政会議でしていただけたらなというふうに思います。

最後に、辻先生と同じですけど、公園とか、特に緑の管理を区役所をお願いします。私は緑のまちづくり審議会の委員もしてまして、先日、それらのことをしっかりと申し上げておりますし、やはり、まちづくり、まちのことはやはり一番区役所で、区長・区役所で把握していただくのが、これからのよりよい自然育成につながっていくと思いますのでそこはよろしく願い申し上げます。

今日は本当に皆さんありがとうございました。今後ともよろしくお願い申し上げます。

○沼田議長

お二方ありがとうございました。

それでは閉会に当たりまして、塩屋区長より一言お願いいたします。

○塩屋区長

本日もいろいろご意見を頂戴しまして本当にありがとうございました。遅い時間までありがとうございました。

今日、本年度3回目の区政会議ということで、過去2回の会議で頂いた意見などを、極力盛り込みながら策定した事業運営方針や、あるいは予算案とかについてご報告申し上げて、またそれについての改めてのご意見を頂戴したということでございました。

区政会議も10年経ったということをご冒頭申し上げましたけれども、こうした形での市政改革が行われて10年ということでもございまして、さらに一步、バージョンアップしていく時期でございます。また今日、先生方あるいは委員の皆様方から頂戴したように、データの根拠に基づいた形のテーマ設定、課題設定なり、そしてそれについてきちっと指標・実績を見ていくといったようなこと、そういったもっと鋭いといいますか、シャープな形の課題設定とか取り組みが必要になってきているのだらうということを改めて強く認識した次第でございました。

それともう1点、今日ご議論・ご意見を頂戴しまして、やはりこの区政会議は、様々・多様な区民の方々がいらっしゃる中で、それぞれのお立場で区民の代表として来ていただいている委員の皆様方と、どのようにして充実した会議にしていくのかという、これも非常に重要なテーマだということを改めて認識しました。やはり、具体的に身近な課題一つ一つを挙げて議論し、きちっと成果に結びつけていくということもありますし、また、大きな長期的なビジョンについても議論していくということも必要かもしれません。

この区政会議の充実という本日の大きな課題として、今後検討してまいりたいと改めて考えた次第でございます。ぜひ、区政会議、あるいは日々の様々な取り組み・イベント又は各地域での会合とかで、各地域の区民の皆様の抱えている課題あるいは潜在的な課題とかに肉薄して、きちっと認識し、区政の結果に結びつけていくといったことを今後とも一層取り組んでいきたいと思った次第でございました。

本日は本当にどうもありがとうございました。

○沼田議長

区長ありがとうございました。

それではこれもちまして、令和4年度第3回東住吉区区政会議本会議を終了いたします。皆さんどうもありがとうございました。